

1988年、平城宮跡(奈良市)の隣接地で行われた奈良国立文化財研究所(現 奈良文化財研究所)の発掘調査により、広大な邸宅跡が見つかり、出土した約3万5千点に及ぶ木簡群から、長屋王宅と判明しました。渡辺晃宏教授は木簡出土の翌年(1989年)に同研究所に入所し、31年にわたり、平城宮・京跡の発掘調査と木簡を中心とする出土文字資料・解読に携わってきました。昨年3月に同研究所副所長を定年退職し、4月より本学史学科の専任教員として着任されました。

## 奈良への憧れ

大学で勉強するとすれば、文学部で日本古代史かなあ、といつの頃からか漠然と考える子どもでした。父が好きだった古代史の本を手近に見ることができた影響も大きかったのでしょう。初めての奈良は、EXPO'70(大阪万博)の見学も兼ねて、寝台急行「紀伊」でやって来た小5の夏のことでした。高校に入学する直前の春休みには、1週間民宿に泊まって飛鳥を自転車で回り尽くしました。

そうはいつでも、東京生まれ東京育ちなので、そうしょっちゅう訪れることはできません。古代史を専攻するようになってからも、年に一度の正倉院展の時期の奈良の旅を心待ちに過ごす日々でした。皮肉なことですが、奈良から離れた地に住んでいたことが、かえっていっそう奈良への憧憬をかき立てたのかも知れません。

## 日本古代史を学んできた歩み

学生時代には、正倉院に伝わる正税帳という地方財政の報告書の分析で卒論を書きました。大学院に入ってから、正倉院文書として残された、写経所の帳簿群の検討にのめり込みました。奈文研に就職後は、31年間にわたり平城宮・京跡の発掘調査と木簡を中心とする出土文字資料の整理解読に携わる幸運に恵まれました。昨春奈良大学に移ったばかりですが、これまで研究素材を提供する立場だった経験を生かし、今度は素材を使って研究する立場から、日本古代の律令制の特質や、平城宮・京の実態、あるいは木簡など出土文字資料について、さらに研究を深めていきたいと考えています。

## 奈良大学で奈良時代を学ぶこと

奈良に来て一番よかったことは、奈良時代の人々が実際に生活していた場所で、彼らが残した史料について考え、日本古代の歴史を学ぶことができたことです。気が向けば、聖武天皇や光明皇后だけでなく、名もない役人たちが実際に生活し仕事に励んでいた場所(平城宮跡)にいつでも立つことができます。秋には1300年の時を超えて伝わった正倉院宝物を展示する「正倉院展」(奈良国立博物館)や、木簡の実物を見られる「地下の正倉院展」(平城宮跡資料館)も開かれます。彼らと空間を共有している安心感は何ものにも代え難いものです。

また、世界遺産「古都奈良の文化財」のひとつ、奈良盆地の北端に位置する平城宮跡の北に広がる平城山の懐に抱かれた奈良大学からは、やはり世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」に含まれる大峯奥駈道の山々を望むこともできます。奈良大学は、まさに歴史を学ぶに相応しい立地といえるでしょう。

## 受験生へのメッセージ

日本の古代、とくに奈良時代を学ぶのに、奈良大学ほど恵まれた環境の大学はほかにありません。上に述べた立地はもちろんのこと、さらに奈良大学図書館の充実した蔵書群には目をみはるものがあります。是非多くの方々に、古都奈良の地にある奈良大学で、奈良時代をはじめとする日本の古代を学ぶ醍醐味を味わってほしいと思います。



## 研究室紹介

### 文学部 史学科

WATANABE Akihiro

渡辺 晃宏 教授

1960年東京都生まれ。東京大学文学部国史学科卒業、同大学院人文科学研究科国史学専門課程博士課程単位取得退学。1989年奈良国立文化財研究所入所。2020年奈良大学着任。専門は日本古代史。著書に、『平城京と木簡の世紀』(講談社)、『平城京一三〇〇年全検証—奈良の都を木簡からよみ解く』(柏書房)、『日本古代国家建設の舞台 平城宮』(新泉社)など。

ならぶ Vol.186 ●発行:令和3年1月 ●発行:奈良大学 〒631-8502 奈良市山陵町1500 TEL 074-244-1251(代) URL <http://www.nara-u.ac.jp/> E-mail [kouhou@ogaki.nara-u.ac.jp](mailto:kouhou@ogaki.nara-u.ac.jp) ●編集:奈良大学広報室

# ならぶ

Na Love

Nara University Bulletin Vol.186

奈良大学 NARA UNIVERSITY





# 新年あけまして おめでとうございます。

学校法人奈良大学  
理事長

浅川 正美



## Contents

- 1 理事長 新春メッセージ
- 3 後期授業風景
- 7 図書館企画展
- 8 青垣祭
- 9 活躍する卒業生
- 11 全国高校生  
歴史フォーラム
- 12 入試日程
- 13 トピックス
- 14 インフォメーション
- 15 研究室紹介  
文学部 史学科  
渡辺 晃宏 教授

新たな年への期待と新型コロナウイルス禍の不安のなか新年を迎えました。  
私は市川良哉前理事長の後を継いで昨年3月に理事長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

この度、広報誌『ならぶ』への寄稿にあたり、私の思うところを述べご挨拶に代えさせていただきます。昨年は、本法人の現職理事長がご逝去されるという大変悲しい出来事が起こり、その後、世の中は瞬く間にコロナ禍に見舞われました。このウイルスが蔓延して1年近く経ちますが、何をしても今は徹底した感染予防が大事なことであります。現在、本学の授業は対面とウェブ等の併用で行われていますが、全ての授業を通常に戻すには暫く時間がかかります。私は今こそ前理事長が標榜されてきた一人ひとりの学生を大切に、確かな教育と研究を実践することが大事であると思っています。

少し硬い話になりますが、昨年4月に私立学校存立の基本法令であります私立学校法が大幅改正されました。改正の概要は、私立大学としての経営基盤の安定と強化、経営責任の明確化、そしてその責任については経営陣の損害賠償にまで及んでいます。これは更なる18歳人口の減少に伴って経営困難や危機に陥る可能性のある大学への警鐘であるように思います。これからは学校数と学生数の需要と供給のバランスが大きく変わっていきます。本学に限らず、それぞれの学校はいかにして定員を充足していくのが大きな問題であります。ますます厳しくなる私立学校の状況を踏まえ、令和元年に市川前理事長から「奈良大学基本構想と中長期計画」が打ち出されていますが、この度の私立学校法の改正でも大学の教学、人事、施設、財務等の中期的な計画策定が義務化されているところであります。ここで民間の企業経営と学校経営についての根本的な違いを考えますと、企業の目的は利益の追求でどんな活動をするかは手段です。その評価は財務的な成果(利益)で判断されます。大学の目的

は教育研究の充実と発展で、財務的な業績や状況は手段であります。良い大学は教育研究の内容や成果で判断され、財務的な利益の大きさと一致するわけではありません。大学のマネジメントは「経営」と「教学」に区分されますが、大学の目指す方向や取り組む教育研究分野を的確に設定し、必要な資源を調達・管理しなければ良い教育活動はできません。自主性、自律性を尊重した「教学」と「経営」を行うことが大学マネジメントでは大事なことであります。教育と研究なくして大学は存在できません。また健全な財政基盤なくして大学組織を維持存続できません。特に私立大学の運営においては、教学(教授会)と経営(理事会)がそれぞれ正常に機能し、うまく連携し合っていくことが重要であると思っています。

全く話は変わりますが、私は年が変わる度に暦を買い、易学に詳しい友人にも話を聞きます。果たして今年はどうなるのか。今年は「辛丑(かのとうし)」。辛とは陽はすでに没して夜気がつのり辛病の気がみなぎってくる様子。丑は紐(ひも)の糸へんを取り去った文字で結んで解けずの意から渋滞の意があり、地中に根を張っていく様子を表します。昨年は「庚子(かのえね)」、更改の年で、世の中が大きく変化する年でありました。今年は昨年の変化の波が押し寄せ、我々の生活はそれに対応するために辛抱し耐えていかなければならない年になりそうで、あまり明るい兆しはみえないようであります。今年はコロナの影響による社会・経済の大きな変化を受け入れ、将来に備える時であるのかも知れません。当たるも八卦、当たらずも八卦、どのように思われるかはお任せします。

最近になって、新型コロナウイルスに有効なワクチンが開発されたとの報道がされています。このようなことを聞くとはほっとした気持ちになりますが、本学は当分の間、キャンパスへの入構者全員の検温や消毒の実施、そして3密を避ける等の感染防止を徹底していきたいと思っております。感染防止の関係上、学生の皆さんに平常のキャンパスライフを過ごしてもらうには、暫くご辛抱いただきたいと思っておりますが、本学といたしましては、今後も教育の維持向上に精一杯の努力をして参りたいと存じます。

皆さまには現在の状況をご覧察いただき、今後とも本学運営に格別のご支援をお願いしてご挨拶とさせていただきます。



# 博物館実習Ⅱ

## 梱包

(考古資料梱包)

展示品の輸送等で必要となる梱包の実技実習です。「美術資料梱包」では仏像や掛軸などの美術資料について、「考古資料梱包」では土器や装飾品、瓦などの出土品について、取り扱い時の注意や持ち運び方、梱包方法を学びます。

### 講師

ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社 関西美術品支店  
スーパーバイザー(学芸員)  
文化財IPMコーディネーター  
美術品梱包輸送技能取得士 1級  
**三木 英樹 氏**

梱包の実技実習は、どこの大学でも行っている、というわけではありません。現地現物主義の奈良大学は、実際に体験することを重視して、実技実習を取り入れています。知識を習得するだけでなく、実際に体を使って基本動作を覚えることはとても重要です。モノ(出土品)を触ったことがないから怖くて触れない、というのでは困ります。皆さんにはモノに触れる学芸員になってもらいたいです。また、考古資料を扱う仕事は学芸員だけではありません。研究に進む人もいれば、展示会に関わる仕事もあります。輸送を担う私達もそうです。いつか皆さんと一緒に仕事ができればいいですね。



1つの展覧会だけで、500~600本使用されることもある「綿枕(わたまくら)」は、市販されていないため、生綿を薄葉紙で巻いて手作りします。破れたら薄葉紙を新しく巻き直して再生する、エコな梱包材です。実習では1人1本作成し、巻き方やテープの位置などについて三木氏からアドバイスをいただきました。



輸送時の破損を防ぐため、壊れやすいのはどの部分で、どうやって梱包するか、理由を考えながら梱包していきます。陶磁器や実習用の土器・瓦等を使った実習ですが、本番さながらに慎重に作業を進めました。

本学では、文学部(国文学科・史学科・地理学科・文化財学科)の学生を対象に教育普及活動などの多様な博物館活動の推進のために重要な役割を担っています。

「博物館実習Ⅱ」(3年次後期)では、博物館資料の取り扱いや記録の技術をウイルス感染予防として、例年以上に少人数のグループに分けて、対策を施した

学生と一緒に梱包の出来を確認する三木氏(右から2番目)



「グループワークで各自がバラバラに行動すると、モノを危険にさらします。そこで役割分担が非常に重要になります。自分の役割をきちんと認識して作業を行う必要があります。」  
三木氏の言葉をしっかり受け止め、グループで協力して作業を行いました。

## 美術資料

美術資料の取り扱いについて「絵画」と「彫刻」に分けて実習します。「絵画」では卷子(巻物)や掛幅(掛軸)を使って展示実技を、「彫刻」では仏像の計測を行います。

絵画



彫刻



## 考古資料

土器などの考古資料の取り扱い、略測の仕方を学びます。表面観察をして汚れや傷、ひび割れをチェックし、調査作成の実習を行います。また、図版の割り付け作業も行います。



## 民俗資料

民俗資料(おもに民具)の取り扱いを学びます。用途や特徴を調べて資料のクリーニングを実施します。調査の作成では、表面観察をして汚れや傷の調査、計測を行います。



## 文献史料

古文書などの文献史料の取り扱い、計測の仕方等を学び、調査作成の実習を行います。また、古文書を読む実習もあります。



博物館実習 担当教員  
奈良大学博物館長  
文学部文化財学科・教授  
小山田 宏一



「博物館概論」「博物館資料論」など座学の次のステップが「博物館実習Ⅱ」です。これまで学んできたことを総動員して、各分野の資料の取り扱い方などを習得します。資料の取り扱いでは、「どこを持って安全に持ち運べるか、展示できるか」など、資料の観察から始まります。資料の観察はモノを取り扱う博物館業務の基本であり、本学が実技実習を重視している所以でもあります。そしてこのような経験をもとに、各実習園で実際の博物館業務を体験するのが、次のステップである「博物館実習Ⅲ」です。モノには個性があり、取り扱いは臨機応変な対応が求められることがあります。取り扱い方によっては、モノがもつ情報を十分に引き出すことができない場合もあります。この「博物館実習Ⅱ」を通じて、モノに向き合う姿勢をしっかりと身につけてほしいと思います。

## 学生の声

文化財学科3年 田口 知佳 さん

考古資料梱包実習では、どこを保護したらよいか、どうしたら箱の中で動かなくなるか、と最適な梱包方法を考えながら作業しました。壺の形状の梱包は難しいと思いましたが、講評で三木先生に褒めていただきうれしかったです。グループのメンバーの間で意見が異なることもありましたが、壊さずに輸送できるよう梱包する、という目的に向かって、調整しながら協力して作業することができました。

文化財学科3年 奥貞 友紀乃 さん

絵画の美術資料実習では、調査の作成方法や、軸装(掛幅とその表具)の掛け方、巻き方などを学びました。取り扱いによって傷むことがあるので、丁寧に、資料にとって一番よい取り扱いは何だろうと考えながら扱いました。展示会のために所有者は大切な資料や作品を貸し出してくださるのだから、安心して預けてもらえるように、との先生の言葉に、資料や作品は大事なものだという意識を持って取り組むことが大切だと感じました。



# 社会体験実習

(絵図屋プロジェクト)



## 総合社会学科・教授 領内 修

企業人だった私の経験上、社会に出て必要なのは「ワイ・ガヤ」です。グループでワイワイガヤガヤ、コミュニケーションを取る中で、新しい発想が生まれます。そしてその中で、目標、手段、それぞれの役割等を明確化し、各自が、あるいは力を合わせて役割を果たすことが、チームプロジェクトの成功につながります。「ワイ・ガヤ」は、コミュニケーション能力や協調性とも言えます。

社会体験実習では、「ワイ・ガヤ」を体験し、自分の強みにしてもらいたいと思っています。

社会学、経済学、経営学、政治学、情報学など、社会科学の主要な領域をコンパクトに、そして効率的に学ぶことが、本学総合社会学科のカリキュラムの特長です。そして、2年次の「社会体験実習」や3年次の「社会調査実習」などの実習カリキュラムでは、授業で学んだことを社会で活用し、社会での

学外でのさまざまな活動を通して学びを深める「社会体験実習」は、総合社会学科2年次の必修科目です。企業やNPO等と連携した活動を通じて、社会が直面する諸問題を感じ取り、課題を設定して、解決する力やスキルを身につけます。

絵図屋プロジェクトは、株式会社明新社の企画営業部クリエイティブソリューション課 松浦一葉氏を講師に招き、同社の展開する土産物ショップ「絵図屋」で扱っていただく商品とそのPR方法を企画するものです。14人の学生が参加し、有志の学生ボランティア4年生3人、3年生1人がサポートしています。3つのグループに分かれて、マスクケース、トートバッグ、トランプの商品開発と販売促進企画を行っており、2月の発売を目指しています。

また、本来の活動と並行し、奈良大学のPRツールとしてマスクを製作する企画を立ち上げ、12月にマスクが完成しました。(関連記事P.13)



## 総合社会学科 2年 平尾 兼司 さん

私達のグループは、「奈良」をコンセプトにしたマスクケースを企画しました。自分と違う視点を持っている仲間とのグループワークはとても刺激になります。いろいろな意見を出し合ってよい商品にしたいと思っています。

また、将来はサービスやモノを販売する仕事に就きたいと考えているので、実際に販売の現場で働いている松浦さんからいろいろなことを吸収できるチャンスだと思っています。

に、そして効率的に学ぶことが、本学総合社会学科のカリキュラムの特長です。そして、2年次の「社会体験実習」や3年次の「社会調査実習」などの実習カリキュラムでは、授業で学んだことを社会で活用し、社会での体験を通して学びを深めます。

# 社会調査法



## 総合社会学科・教授 吉村 治正

社会学は科学であり、科学の基本となるのはデータです。データを集めることが研究の第一歩です。そこで、正確で精度の高いデータをどうやって集めるかが問題になります。研究の成果はデータ収集のレベルに左右されると言えます。これは研究に限らず、企業活動をはじめとしたさまざまなことに当てはまります。

まずはデータの重要性を理解し、データを正しく収集する手段として社会調査の手順を学んでください。

社会調査の手順を修得する「社会調査法」では、国勢調査等の実際の社会調査を取り上げ、陥りやすい失敗や実施の各場面で生じやすいミスとその結果としての誤差の発生についても学びます。

「社会調査法」で学んだ手法を用いて、3年次の「社会調査実習」では実際に調査票を用いた社会調査(アンケート調査)を実施します。また3・4年次に受講できる「量的分析法」では、社会調査データをどのように分析し、どのような知見を引き出すかを体験的に学習します。

「社会調査法」は総合社会学科1年次の必修科目です。受講人数が多いため、双方向リアルタイム講義配信システムを用いて、2つの教室で授業を行っています。

双方向  
リアルタイム講義  
配信システム 利用



ホスト教室で講義を行う吉村教授

## 総合社会学科 1年生の声

- ▶ 調査の仕方で結果が変わることに驚いた。
- ▶ 実際の調査用紙を見て説明を聞くと、どこが、なぜだめなのかがよくわかった。
- ▶ 大学で授業を受けることができてよかった。気分が引き締まって、理解が高まった。



別教室で受講する学生たち

# 後期より 対面授業が再開!

## 検温による入構規制

大学正門玄関入口にタブレット型サーマルカメラ2台を設置しました。入構者全員を対象に体温測定を実施し、37.5度以上の人は入構することができません。また、マスク着用、手指消毒、3密の回避など、さまざまな対策を講じています。



2020年度後期授業が9月19日(土)から始まりました。3密を避けた対面授業を後期カリキュラムの約60%で、残り40%はWEB授業で行っています。今後、新型コロナウイルスの感染状況によっては、全面WEB授業に移行することも考えられますが、本学では、学生および教職員の皆さんの安全と健康を最優先に考えるとともに、教育・研究の機会を最大限確保し、学びの質の維持・向上を図ってまいります。

## 登校時にWEB授業を受講できるスペースの確保

対面授業のため登校した学生が、学内でWEB授業を受講できるよう、教室を開放しています。また後期からは学内全棟でWi-Fiを利用できるように拡張しました。

## ソーシャルディスタンスを保った教室の座席配置

教室は、収容定員の約30%の人数に抑え、座席に番号を付けて着席履歴を管理するなどとともに、換気などの徹底した対策を施しています。

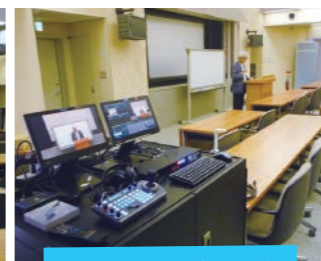


## 授業動画配信スタジオを新設

学内3教室に授業動画撮影のためのスタジオを設置し、通常の対面授業と同じ内容を撮影し、リアルタイム、オンデマンドのいずれでも配信できるようにしました。



授業動画を撮影



リアルタイム配信も可能

## 「複数拠点対応の双方向リアルタイム講義配信システム」を導入

本学が独自にシステム構築を行った同システムは、ホスト教室と複数の学生教室をつないで、3密を避けた対面授業が可能です。社会学部総合社会学科 正司哲朗准教授(情報学)が計画・設計を行いました。



学生教室への配信状況を確認する正司准教授



## 文学部国文学科企画

# 全国方言資料展

昨年11月9日(月)より、文学部国文学科の企画展「全国方言資料展—全国方言番付・方言のれんなどの展示—」が、本学図書館で開催されています。同展示は、日本各地の方言を研究している社会言語学者の岸江信介教授が企画しました。フィールドワークのため全国各地を訪れた際に岸江教授が入手した、方言に関する資料を中心に展示しています。

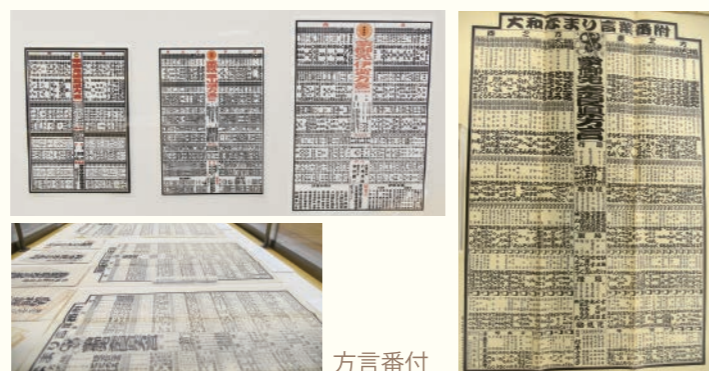


文学部  
国文学科  
岸江 信介 教授

全国各地の方言はいまや消滅の危機に瀕していると言われています。この40年間、方言研究に携わってきましたが、40年前の高齢者の方々(明治生まれ)の方言と、現在の高齢者の方々(昭和1桁生まれ)の方言を比較しても、大きく変化してしまったという印象を持ったことはありません。明治から昭和にかけて方言はそのまま受け継がれてきたのです。日本各地には古くからのことばが今なおほぼそのまま話されているということもできます。このような伝統方言は「無形文化財」であり、消滅する前に必ず記憶され、保存されなければいけません。いったん消えてしまうと二度と再現することはできないのです。



方言のれん・方言手拭い



方言番付



方言かるた



方言湯呑み・方言マグカップ

方言は、人に懐かしい気持ち、郷愁の念を抱かせます。故郷の方言が書かれたのれんや湯呑を見て、懐かしんだり、心が温かくなったりしたことはありませんか。

最近では、方言を使って地域の魅力を発信し、地域活性化を目指す取り組みも行われています。

# 第51回青垣祭

## 奈良大謳歌

### ~No Festival No Life~

## を開催しました!

11月1日(日)、2日(月)に令和2年度青垣祭が行われました。前期は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、WEB授業、入構規制、課外活動停止等の措置が取られ、特に1年生は、入学式が中止となり、他学生と交流を図る機会がほとんどありませんでした。そのため、大学と青垣祭実行委員会が話し合い、感染予防対策を施した上で、友人づくりの機会や課外活動参加のきっかけとしてもらえるイベントとして、本学学生のみを対象に大学祭を実施することにしました。



青垣祭実行委員会  
委員長  
横堀 恵末子さん  
(文学部地理学科3年)

毎年約100人が在籍する青垣祭実行委員会ですが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、前期は活動も1年生の勧誘もできず、約60人という少ない人数で、準備期間も短い中、青垣祭の企画・制作・運営を行うことになりました。

例年は地域の人など一般の方にもご参加いただき、クラブ・サークルの展示や模擬店、野菜市、フリーマーケット、プロコンサート、子供遊園地等を行っています。今年度は在学生と教職員のみを入構可能とし、課外活動の紹介をメインに、フワちゃんによるトークショーやビンゴ大会等を行いました。

規模の縮小により、運営が楽になったかというそうではなく、集まって活動できないことや当日のコロナ対策など、これまでになかった課題に直面しました。また委員長として、大勢のメンバーをひとつにまとめることの難しさも実感しました。青垣祭を無事終えて、参加者や実行委員会のメンバーから「楽しかった」という声を聞き、大変だったけれど、よい経験ができたと思っています。



大学祭は、一から作り上げるもので、高校の学校祭とは全く違います。青垣祭実行委員会に入って、その違いを実感し、自分の手で青垣祭を作り上げ、盛り上げてみませんか。



## 子どもたちにとって 安心できる支援者でありたい

藤村 奈未 さん



独立行政法人国立病院機構  
天竜病院  
児童精神科 心理療法士  
(臨床心理士/公認心理師)  
社会学部心理学科 2014年3月卒業  
大学院社会学研究科社会学専攻(修士課程)  
臨床心理学コース 2016年3月修了

### 子どもたちとの関わりが対人支援職を目指すきっかけに

高校生の時に、友人との会話の中で、悩みを話したり、悩みに共感してもらったりすると気分が軽くなることに気が付きました。対人援助職への興味もあり、臨床心理士を志しました。

奈良大学は先生との距離が近く、私の興味関心を尊重してくださり、じっくりと学べたように思います。学内での学びに加えて、大学3年生から大学院卒業まで、学外のフリースクールでボランティアとして、不登校の子どもたちと関わったことも良い経験となりました。

大学院では講義以外に、学内外での実習があります。学内では奈良大学臨床心理クリニック、学外では、児童福祉施設、高校の相談員、療育施設で実習を行いました。実習では講義や教科書通りになることは少なく、現場の難しさを実感しました。先生や大学院の同期に悩みを相談し、支え合いながら乗り越えました。

実習に加えて、修士論文の作成も大きな課題です。不登校の子どもたちをさらに理解したいと思い、修士論文では、フリースクールに関する研究を行いました。研究を進める中で、普段の関わりでは見えない子どもたちの悩みを知り、修了後は子どもたちを支援する仕事に就きたいと考えました。

### 支援の現場で思うこと

大学院修了後は地元の静岡県で、大学病院、精神科病院、児童精神科診療所、精神科クリニックでの勤務を経て、2018年から現在の職場で勤務しています。当科では、6~15歳までの患者さんが不登校、感情コントロールの苦手さ、発達特性による困り感、親子関係の悩みなどを主訴に入院されます。医師、看護師、精神保健福祉士など多職種とチームを組み、教育・福祉機関とも連携して患者さんが安全な環境へ退院できるようにさまざまな視点から支援を考えます。チーム支援では、臨床心理的な評価を伝えつつ、他職種のメンバーの意見も尊重することが大切です。他職種間で連携し支援を考え、元気に退院していく姿を見るとうれしく感じます。

### 心理療法士として研鑽を重ねる

心理療法士は、患者さんへの心理検査・心理面接、ご家族への心理面接・親御さんの会(現在は実施できず)などを行います。それらの情報をもとに、臨床心理的な評価をし、支援を考えます。患者さんの中には言葉で表現することが苦手な方もいるため、心理面接などでは、遊びの中での表現や少しの表出も受け止め、寄り添いつつも、どうしたら心理士として患者さんの役に立てるかを考えて接しています。また、短期間で症状や発達特性、心理検査の結果を患者さん・ご家族に説明し、理解を促す面接も実施します。患者さん・ご家族は初めて聞くこともあるため、わかりやすい表現を使い、不安を減らす配慮をしています。患者さんとの関わりは一筋縄ではないこともあります。日々発見も多く、患者さんの成長を感じられるためやりがいを感じています。また、現在の職場は同僚も多く、悩みを相談し合い、お互いに研鑽を重ねられることも魅力です。今後も研鑽を重ね、子どもたちへの理解を深め、より良い支援を考えたいと思っています。

### 受験生へのメッセージ

学びは勉強だけではありません。私はサークル活動、アルバイト、ボランティアを通じて多くの人に出会い、多様な価値観に気が付きました。それらは今の仕事にも生きています。学生時代にさまざまな体験をしてください。

## 地球環境問題に 地理学的視点から挑む

芝田 篤紀 さん



京都大学 学際融合教育研究推進センター  
森里海連環学教育研究ユニット 研究員  
京都大学 博士(文学)

文学部地理学科 2014年3月卒業

### 地理学にハマリ、思う存分学ぶ

私が研究者を志したきっかけは高校地理の授業でした。地理という科目の面白さにハマリ、他の科目の授業まで地理との関連を見いだしては面白くなっていったことを覚えています。一方で、幼少期に観たアフリカの子供たちについてのドキュメンタリー番組がずっと記憶に残っていました。アフリカに行ってみたいと思う気持ちをずっと持ち続ける中で、選択肢は色々ありましたが、大好きな地理をもっと勉強して、地理学者になってアフリカに行くことが、私の夢の一つになっていました。そして奈良大学に進学し、一年目から卒業するまで思う存分、地理学を学ぶことができました。京都大学大学院に進学して学びを深め、自分の希望通り、地理学研究者として、アフリカに行く夢が叶いました。在学中、好きな学問(地理学)を好きなだけ学んだ結果、奈良大学では二度、学長表彰を受けることができました。また大学院での研究は、優秀論文として学会賞をいただくことにもなりました。とても運が良かったと思いますし、これまで出会った先生や先輩、研究仲間、友達といった自分を前進させてくれた、たくさんの人々との縁に恵まれてきたと心から思います。

### 念願のアフリカでのフィールドワーク

アフリカでは住み込みによる現地調査をベースに、半乾燥地域における自然と、そこで暮らす地域住民の関係を通して、自然環境と住民生活の相互作用性や共生の在り方について、研究を進めてきました。主な研究内容は、国立公園で暮らす人たちが利用する自然環境やその場所がどのような影響を受けて成立しているのか、自然と密接に暮らしている人たちが周辺の自然環境をどのように認識しているのかを解明することでした。私たちはよくビルや車で待ち合わせをしますが、そういうものが一切ない自然の中だと何を目印に待ち合わせをしますか？実は大きな目立つ木を目印にするだけでなく、私たちにっては何気ない木々や水たまりまでも、そこに暮らす狩猟採集民の人たちは一つ一つ記憶していて、その特徴や性質、そこまでの距離などが、明確に認識されているのです。そういった自分たちとの違いを体感することも、フィールドワークの醍醐味と言えます。



### 地理学の視点から地球環境問題の解決を目指す

山に一ヶ所だけ色が違う部分があった時、それはその樹木の種類が違うからだと考えます。ではなぜ、そこだけ樹木の種類が違うのかと考えを巡らせることが、私の地理学を学ぶ出発点でした。傾斜の違いや水分条件、植樹など色々な可能性がありますが、そうやって疑問をたくさん持つことが物事を深く、あるいは多面的に捉えることに繋がります。現在は、これまでの研究を通して培った地球環境を総合的に捉える地理学の視点と、人工知能による深層学習など、最先端科学技術との融合から生まれる新たな発想によって、海洋ごみ問題の解決に資する研究に努めています。まだまだ研究途中ですが、陸域における海洋ごみや、その元になるごみの挙動が具体的に分かるようになれば、効率的な海洋ごみへの対策を打つことができるため、環境問題の解決に寄与できるのではと考えています。

### 受験生へのメッセージ

地理学は領域の広い学問です。色々な事柄を学び、その繋がりを考えます。奈良大学にはさまざまな専門分野の先生がいるため、地理学を存分に学ぶことができます。たくさん興味を持って、人生をどんどん楽しくしてってください。





第14回

# 全国高校生 歴史フォーラム

佳作ポスター発表



11月14日(土)に奈良大学 令和館で第14回全国高校生歴史フォーラムを行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般観覧を中止し、感染予防対策を施した上での縮小開催となりました。80校114編の応募レポートの中から優秀賞に選ばれた5編の研究発表が行われ、学長賞、知事賞が決定しました。

## 審査結果 (敬称略)

### 学長賞

岐阜県立関高等学校  
アントロポス研究会 地域研究部・  
自然科学部合同チーム

ナッツ割りから考える700万年の人類史  
～チンパンジー、現代の子ども、飛驒の縄文人を比較する～



### 知事賞

長崎県立壱岐高等学校  
東アジア歴史・中国語コース  
歴史学専攻2年生

定光寺前遺跡出土の貿易陶磁器  
からみた中世壱岐の研究



### 優秀賞

※高等学校等コード順に掲載

埼玉県・昌平中学・高等学校 社会歴史研究部 松永武大  
戦時下の海南島—海南海軍警察訓練所と二枚の絵—

岐阜県立関高等学校  
アントロポス研究会 地域研究部・自然科学部合同チーム  
井上寧々・古田萌恵・神谷杏奈・木村陽向・小森弘貴・岩田悠市  
山内虎太郎・永坂知也・熊崎真南風・酒井雄万・拓植幹大  
渡邊みき・酒向由芽・山田珠実・小川果枝・竹山翔

ナッツ割りから考える700万年の人類史  
～チンパンジー、現代の子ども、飛驒の縄文人を比較する～

岐阜県立関高等学校 地域研究部  
那須優花・小林未紗・岩井萌々子・赤羽葉那・山内康誠・藤井大輝  
小山政亮・田中莉子・藤村彩須果・小原和也・河路康太・渡邊貫太  
応永年間、関鍛冶に何が起きたのか～関鍛冶成立期に関する探究～

兵庫県立加古川東高等学校 自然科学部地学班  
井上絢音・竹山悠斗・真野航輔・山野莉緒・高橋佑希・田畑陽彩  
天満大池築造と喜瀬川形成に関する地理学的検討

長崎県立壱岐高等学校 東アジア歴史・中国語コース歴史学専攻2年生  
吉本大悟・竹川柊・富田悠斗・益中大輝・大島透優  
定光寺前遺跡出土の貿易陶磁器からみた中世壱岐の研究

### 佳作

※高等学校等コード順に掲載

群馬県・伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 菊池悠真  
上毛野地域の発展と交通路の関係～地域内全域の包括的考察～

千葉県・千葉敬愛高等学校 中村優希  
安土城天主の平面復元の試案に基づく「天守指図」の史料価値の検討

福井県・福井南高等学校 前田遥南・軽部由菜  
福井県の軽部氏と「講」及び伝統文化の存続

愛知県・南山国際高等学校 秀 丈瑠  
讃岐高松藩「塩硝製法並びに筒薬調合方」  
未解読古文書から考察する幕末高松藩の火薬製造

鹿児島県立鶴翔高等学校 地域文化研究同好会  
倉津優奈・入徳舞衣・的場翔・下平拓真  
2億年前からのたからもの～光礫(ひかるぜ)と五色浜(ごしきはま)～

※ホームページに発表集や講評を掲載しています。  
URL <http://www.nara-u.ac.jp/forum/>



歴史フォーラムHP

## 入試日程

各日程の詳細については必ず募集要項の該当ページをご確認ください。

＜試験日程の変更、選抜方法の変更について＞

今後、試験日程の変更、選抜方法の変更が発生した場合は、速やかに告知、対応を行いますので、本学ホームページ等でご確認ください。



奈良大学 入試情報サイト

### 一般選抜

B  
日程

一般選抜B日程は、筆記試験(3科目各100点=合計300点)。大学入学共通テスト利用入試(A日程)を同時出願できます。

【試験日】2月11日(木・祝) 【試験場】本学・東京・静岡・名古屋・大阪・岡山・福岡  
【Web出願期間】1月4日(月)10:00～2月4日(木)23:50  
【提出書類の送付】1月4日(月)～2月4日(木)締切日の消印は有効  
【窓口受付】2月5日(金)のみ本学での窓口受付を行います。9:00～16:00  
【合格発表日】2月15日(月)

一般選抜C日程は、筆記試験2科目200点+大学入学希望理由書10点の合計210点満点。大学入学共通テスト利用入試(B日程)を同時出願できます。

C  
日程

【試験日】3月3日(水) 【試験場】本学のみ  
【Web出願期間】2月8日(月)10:00～2月22日(月)23:50  
【提出書類の送付】2月8日(月)～2月22日(月)締切日の消印は有効  
【窓口受付】2月23日(火・祝)のみ本学での窓口受付を行います。9:00～16:00  
【合格発表日】3月7日(日)

### 一般選抜 大学入学共通テスト利用入試

A  
日程

一般選抜 大学入学共通テスト利用入試は、2021年度大学入学共通テストで受験した科目の得点を基に判定します(本学独自の試験はありません)。各学科とも、指定する教科・科目のみが判定対象となります。

【Web出願期間】1月4日(月)10:00～2月5日(金)23:50  
【提出書類の送付】1月4日(月)～2月5日(金)締切日の消印は有効  
【合格発表日】2月15日(月)

B  
日程

【Web出願期間】2月8日(月)10:00～2月25日(木)23:50  
【提出書類の送付】2月8日(月)～2月25日(木)締切日の消印は有効  
【合格発表日】3月7日(日)

C  
日程

【Web出願期間】2月26日(金)10:00～3月12日(金)23:50  
【提出書類の送付】2月26日(金)～3月12日(金)締切日の消印は有効  
【合格発表日】3月20日(土・祝)

### 大学院 春季

当日の試験科目などは、試験制度および専攻により異なります。

修士課程(一般・社会人・外国人入学試験)  
博士前期課程(一般入学試験)  
博士後期課程(編入学試験)

【試験日】2月17日(水) 【試験場】本学のみ  
【Web出願期間】1月8日(金)10:00～2月4日(木)23:50  
【提出書類の送付】1月8日(金)～2月4日(木)締切日の消印は有効  
【窓口受付】2月5日(金)のみ本学での窓口受付を行います。9:00～16:00  
【合格発表日】2月20日(土)



10月 October

24日 学生による  
地域連携企画実施



文化系サークル「現代短歌会」の学生が企画した歌集「小学生と大学生でつくる現代の万葉集」が刊行されました。小学生からオリジナル短歌を募集し、寄せられた77首に学生がイメージした絵や写真をつけて紹介しています。

10月24日(土)、25日(日)には、奈良県立万葉文化館で行われた奈良県主催の子供向けイベントと同時開催で、歌集のお披露目と短歌の展示等を行いました。

これらの活動は、奈良県主催の令和元年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」で、「現代短歌会」の政策提案「和歌発祥の奈良で現代の“短歌を詠む”文化継承を大学生の手で」が優秀賞を受賞したことから、奈良県「なら記紀・万葉プロジェクト集大成イベント関連事業」と連携し事業化されたことによるものです。

24日 地理学科が  
卒業生座談会を開催

学びを活かして活躍している卒業生を招いて座談会(地理学科・キャリア

センター主催)を開きました。

GISソフトウェアの代理店であるESRIジャパン株式会社、航空事業と空間情報事業を展開する朝日航洋株式会社、地盤調査や測量業務を行うジャパンホームシールド株式会社から3人の卒業生にご出席いただき、3年生7人、2年生2人が参加しました。学生たちは、先輩から仕事内容や業界動向等の話を伺い、就職活動の悩みや疑問についてアドバイスをいただきました。



11月 November

2日 文化財学科の学生が  
一日文化財保安官に!

文化財学科3年の秋吉里南さんと日下倫香さんが、奈良県警察本部より「一日文化財保安官」の委嘱を受け、文化財防犯啓発活動を行いました。

2016年に県内外の寺社で油のようなものがまかれる事件が相次いで発生したことを受けて始まった奈良県警の同活動を、今年も本学学生が担当させていただきました。

奈良県警察本部での委嘱式に出席した2人は、文化財保安官らと貴重な文化財を所有する唐招提寺、薬師寺を訪問

し、それぞれの寺院で文化財の保存状況や防犯体制・活動等について説明を受け、確認を行いました。



12月 December

16日 総合社会学科の学生が  
大学PR用マスクを製作



総合社会学科の学生が、奈良の土産物ショップ「絵図屋」(株式会社明新社)とのコラボレーション企画により、マスクを製作しました。

企画には「社会体験実習」の一環として学生18人が参加し、「絵図屋」のキャラクターと本学のロゴを組み合わせたオリジナルマスクを作りました。一般販売は予定しておらず、奈良大学の広報ツールとして、高校生などに配布します。(関連記事P.5)

近刊紹介

◆万葉集講義 最古の歌集の素顔

文学部国文学科・教授 上野誠 著  
中央公論新社 2020年9月刊行

◆緑の政治理論

ロバート・E・グッディン 著  
松野弘 監修・監訳、太田義器/丸田健 訳  
(文学部国文学科・教授 丸田健 共訳)  
ミネルヴァ書房 2020年10月刊行

附属高等学校

オンラインでの国際交流

本校ではコロナ禍の中でも、オンラインを通してオーストラリアの高校生と交流を深めています。

例年、本校ではオーストラリアの首都、キャンベラで毎年10月に行われている奈良キャンベラ姉妹都市記念のキャンドルフェスティバルに、研修旅行で現地を訪れた特進コースの2年生が参加しています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、参加することが叶わなかったため、参加を予定していたクラスの生徒達で、記念メッセージを作成し、キャンベラへと送りました。このことは、現地のキャンドルフェスティバルのHPでも紹介されているようです。

また、学校紹介動画を作成し、研修旅行の際に毎年交流しているキャンベラのディクソンカレッジ、アマルースクール、

ナラバンダカレッジの生徒とそれぞれ交換しました。そして、交流活動の締めくくりには、オンラインでナラバンダカレッジの生徒とビデオチャットの機会を設け、お互いの国の様子やそれぞれの学校生活について意見を交わしました。



◆ティムール以後(上・下)

世界帝国の興亡 1400-2000年

ジョン・ダーウィン著  
秋田茂/川村朋貴/中村武司/宗村敦子/山口育人 訳  
(文学部史学科・教授 山口育人 共訳)  
国書刊行会 2020年11月刊行

附属幼稚園

楽しかった運動会

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避けるよう学年ごとでの開催となりました。広いグラウンドで行うことを楽しみに、本番までたくさんの練習を重ねた園児たち。当日はお天気にも恵まれ、気持ちの良い青空の下で運動会を行うことが出来ました。

今回お借りした、ならでんフィールド(鴻池陸上競技場)に、練習で何度か訪れている学年もあれば、本番当日に初めて訪れた園児もいました。「うわぁ広いね!」「今日はこんなに大きなお外でかけっこ出来るの!?!」と、開会式が始まる前から大興奮の様子でした。

コロナ禍により、例年とは異なり各学年入れ替え制ではありませんでしたが、保護者の方からは、「ソーシャルディスタンスを保ちながら観覧することが出来て良かった」「一人ひとりがキラキラした笑顔で演技や競技に取り組んでおり、一回りも二回りも成長した姿を見ることができた」等、有り難いご感想を多数いただきました。

